

令和 2 年 5 月 17 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H03356

研究課題名(和文) ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究

研究課題名(英文) The Trajectory of Religious and Secular Identity in Europe: Interdisciplinary and Comparative Approach to Church-State Relation

研究代表者

伊達 聖伸 (DATE, Kiyonobu)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：90550004

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、政教関係の観点から、ヨーロッパの近世から現代に至る時代の世俗と宗教という地域的にも時代的にも多様で広範な研究対象を再構築し、新しいナラティブでその全体像を語り直した。その際、さまざまなディシプリンを活用しつつ、各国に固有の論理とヨーロッパの全体像を同時に把握し、明確化することに努めた。その結果、時代や地域を限定した個別的な研究を、より大きな視座に位置づけ直すことができ、またヨーロッパの世俗と宗教のカテゴリーを問い直すための確かな基盤を得ることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ヨーロッパの宗教はこれまでもさまざまな形で研究されてきたが、近世から現代まで、西欧から中東欧ロシアまでを見渡して、総合的な見地からの叙述と、内的な分節化を意識した比較を両立させる日本語の研究書は少なかった。本研究は、世俗と宗教という広範な広がりを持つテーマを、学際的な観点から多角的に扱いつつ、統一的にまとめあげる視点をも練りあげた。それによって、学際的かつ社会的な意義を持つ研究としてのひとつのモデルを提供した。

研究成果の概要(英文)：For this research, by adopting an interdisciplinary approach, we attempted to gain a new perspective on church and state relations in Europe. Our scope of interest has been extensive both geographically and historically. We were successful, to some extent, in coming up with a new narrative about Europe. We did our best in combining efforts of researchers from various disciplines each of whom examined the unique features of each country/area. That enabled us to gain a more adequate, or realistic overview of church and state relations in Europe as a whole. Through attaining sufficient understanding of different historical contexts as well as various geographical areas, we managed to ultimately gain a surer foundation from which we could reinterrogate the categories of the secular and the religious in Europe.

研究分野：宗教学・地域研究

キーワード：宗教学 地域研究 ヨーロッパ 世俗主義 政教関係

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

- (1) 研究開始当初、いわゆる「宗教復興」や「ポスト・セキユラー」が語られる現代世界において、「宗教」の公共空間における位置づけが社会的議論の争点となっていた。ヨーロッパにおいても、伝統宗教の衰退と移民の宗教の流入のなかで、社会のアイデンティティを再確認する動きが生じ、共生社会の実現が急務となっていた。にもかかわらず、日本の学術では、この問題と課題の重要性についての認識は共有されていても、実際の研究は立ち遅れていた。
- (2) 日本の宗教学では、近代西洋的「宗教」概念の歴史性と地域的偏向が自覚され、非欧米地域における近現代の政教関係や宗教の公共性がすでに論じられていたが(一例として櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武編『アジアの社会参加仏教』北海道大学出版会、2015年)、欧米の「宗教」概念やヨーロッパの政教関係についての理解が、ともすると一枚岩的で、ヨーロッパ内部の多様性が必ずしも十分に理解されていなかった。日本の地域研究では、現代ヨーロッパ社会とムスリム移民の摩擦を論じた研究はすでに存在していたが、そこでの「宗教」をどう理解すればよいのかという問いは、近代さらには近世の政教関係の歴史にまで立ち返って理解を深める必要があると思われた。
- (3) 欧米の研究を見渡せば、すでに汗牛充棟たる研究の蓄積があったが、それでも十分とはいえないところがあった。

近代西洋的「宗教」概念の批判的見直しは、北米の宗教学の有力な潮流ではあっても、必ずしもヨーロッパの宗教研究全般には当てはまらない面があった。

ムスリムとの共生は非常に論争的なテーマであり、たとえば英語圏の研究者がフランスを見る目、仏語圏の研究者がドイツを見る目などにはしばしば一定のバイアスがかかっているように思われた。

EU 諸国の宗教関連データについては、いくつか比較的良好にまとまっている研究は存在していたが、数字をどのように学問的に解釈するかについての道は開かれたままであった。

2. 研究の目的

- (1) 本研究は、ヨーロッパ社会における政治と宗教の関係を解明し、適切な比較の視座を獲得することを目的に掲げた。
- (2) ヨーロッパという地域全体および各国における「世俗」と「宗教」の関係を、歴史的に形成されてきた政教構造に照らして理解し、現代の課題を通して見えてくる共通点と相違点を明らかにすることを目指した(時代的には近世から現代まで、地域的には西欧から東欧ロシアまで)。宗教の公共性、社会のアイデンティティの再編などの問題系に特に注意を払い、具体的な事例に多角的にアプローチしてヨーロッパの多元性を提示する一方、それらの連関や緊張関係を体系的に読み解くことを目指した。
- (3) これは、ヨーロッパ内部の多様性を踏まえつつ、世界の政教関係のなかで近現代ヨーロッパの特殊性をどう把握し直すかという大きな問題につながるものであった。さらに、共生の実現という困難な規範的課題にも示唆を与えようという見通しに基づくものであった。

3. 研究の方法

- (1) 形式面については、以下の手順で研究を進めた。

ヨーロッパ諸国の政教関係の状況を把握するための文献研究を基礎に、ヨーロッパでの現地調査を行なう。

研究の枠組みの共有、各自の研究の進展のチェック、調査の報告などを行なう研究会を国内で年2回のペースで開催する。さらに、おもに海外の研究者を外部講師として招く講演会形式での研究会を行なう。

研究成果は参加者各自が国内外の学会で積極的に発信するほか、学会での合同パネルやシンポジウムを企画して成果の是非を問う。最終的には共著の刊行を目指す。
- (2) 内容面については、総論的な全体像と各論的な個別テーマに分けて研究を進めた。総論的な全体像について言えば、ヨーロッパ各国の政教関係の来歴を明らかにしつつ、歴史のなかの分水嶺を見出すことに努めた。具体的には次の通り。研究代表者および分担者で、おもに西欧諸国(イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、ポルトガル、イタリア、オランダ、ベルギー)と東欧諸国(ポーランド、バルカン半島、ロシア)をカバーし、各国における政教構造の確立と展開を相関的に理解する。各国の政教関係を持続的に特徴づけるもの(連続)と、実際に起こった構造転換(断絶)を同時につかみ出しつつ、相互に関係づける。
- (3) より各論的な個別テーマについて言えば、次の点を意識した。

ヨーロッパの歴史的な背景を踏まえ、伝統宗教の再編と世俗国家の変質、移民の宗教との共生の現状を解明する。または、現代のアクチュアルな課題を踏まえ、歴史を遡行する。それによって、現代において伝統宗教や世俗国家がどのような変容を遂げつつあるのかを分析する。

マジョリティの世俗的・宗教的価値観とマイノリティのそれとの影響関係・緊張関係に注目しながら、各国におけるナショナリズムの巻き返し、反ユダヤ主義、イスラモフォビアの現状などを検討する。

公教育における宗教教育のあり方を比較の視座から解明する。

アイデンティティとしての宗教が和解と対立にどのように関与しているのかを検討する。

宗教の諸相を信仰・実践のみならず所属の観点からも分析する。
世俗の進展にともなう「人間」概念の変貌について考察を深める。

4. 研究成果

(1) 各人の学会発表や論文および書籍等は後述の「5. 主な発表論文等」に譲り、ここでは、共同研究の全体的な成果として改めて強調しておくべきことや、その他の事項についてまとめておく。

定例研究会を各年度2回のペースで行なった(2016年度、2017年度、2018年度は2回、2019年度は3回)。この定例研究会は、メンバーで問題意識や情報を共有することや、研究の進捗状況を報告することによってお互いに研究のペースを作るうえで効果的であった。

ヨーロッパの宗教を専門とする海外の研究者を招聘し、講演会・国際シンポジウムを行なった。概要は以下の通り。

- ・ 講演会：Jean Baubérot (École Pratique des Hautes Études), 《 La laïcité actuelle en France face à l'islam et à la globalisation du religieux 》(2016年10月24日@東京大学)
- ・ 講演会：Jean Baubérot, 《 Quelle laïcité, en France, face au attentats terroristes ? 》(2016年10月25日@上智大学)
- ・ 討論会：Philippe Portier (École Pratique des Hautes Études), 《 L'État et les religions en France : le parcours de la laïcité 》(ディスカッサント：森元あんり、2017年2月27日@日仏会館)
- ・ 講演会：Philippe Portier, 《 Le catholicisme dans la société française : exploration d'un réveil 》(2017年2月28日@上智大学)
- ・ 講演会：Philippe Portier, 《 La philosophie contemporaine et la question religieuse 》(2017年3月1日@日仏会館)
- ・ 講演会：Brigitte Maréchal (Catholic University of Louvain), "Religion, Politics and Society: Islam in Europe" (2017年7月20日@上智大学)
- ・ 講演会：Brigitte Maréchal, "Regards and Relations between Muslims and non-Muslims in Belgium: What is at Stake before and after 22nd of March 2016 ? " (2017年7月22日@長崎大学)
- ・ 講演会：Dino Avazović (University of Sarajevo), "Religion and post-Conflict Reconstruction of/in Bosnia and Herzegovina" (2018年6月1日@東京大学、6月5日@上智大学)
- ・ 講演会：Dino Avazović, "Religion and (non-Violence): The Case Study of the Balkans" (2018年6月3日@東京大学、戦争社会学研究会)
- ・ シンポジウム(学会パネル): Grace Davie (University of Exeter), "Rethinking 'the Religious' in Secularised Societies" (他のパネリスト = 伊達聖伸、井上まどか、岡本亮輔、2018年9月8日@大谷大学、日本宗教学会)
- ・ 研究会：Grace Davie, "Understanding Religion in Modern Britain: The Factors to Take into Account" (他の発表者 = 小川公代、大石和欣、2018年9月12日@上智大学)
- ・ シンポジウム：Abdenour Bidar (Philosophe, Ministère de l'éducation), 《 Regards croisés sur le monde musulman : un dialogue entre la France et le Japon 》(他のパネリスト = 鶴飼哲、中田考、池内恵、2019年10月16日@東京大学)
- ・ 講演会：Abdenour Bidar, "Islam in France and Europe: a presence that worries public opinion and questions traditional identities" (2019年10月17日@立命館大学)
- ・ シンポジウム：Abdenour Bidar, 《 La vie spirituelle dans une époque de crise 》(他のパネリスト = 鶴岡賀雄、安藤礼二、若松英輔、渡辺優、2019年10月19日@日仏会館)
- ・ 討論会：Abdenour Bidar, 《 Sortir de la religion, sortir du sécularisme 》(ディスカッサント：伊達聖伸、2019年10月21日@日仏会館)

このうち、2018年度までのもの多くは、上智大学ヨーロッパ研究所『ヨーロッパの世俗と宗教』(上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書12、2019年)などにまとめられている。2019年度のは、東京大学出版会から2020年度中に出版される予定である。

(2) さらに、本科研の全体の成果として、勁草書房より書籍が2020年度中に刊行される予定である。本書は2部構成であり、総論と各論からなる。総論は近世から現代まで、西欧から東欧までをカバーして政教関係を論じるものである。各論は、政教関係、宗教教育、アイデンティティとしての宗教、宗教における所属の側面、世俗の時代と生と死について論じている。以上より、本研究の成果をまとめると、近世から現代にまで及ぶヨーロッパの世俗と宗教というテーマは非常に大きく、ヨーロッパにおいても研究成果は汗牛充棟たるものがあるが、たんなるキャッチアップとは質的に異なる次元において、それらの研究成果を取り入れつつ上手な距離を取り、適切な比較の視座に位置づけ、新しいナラティブで全体像を語り直すことに挑戦することができた。また、研究代表者と分担者のディシプリンは多様であったが(宗教学、歴史学、文学、哲学、社会学、政治学、地域研究、社会言語学) それらの多様性を生かし、ヨーロッパの近世から現代までを見通し、各国に固有の政教関係と地域の全体像を叙述することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計45件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 24
2. 論文標題 宗教から言語へ 1960年代ケベックの世俗的ナショナリズムとイタリア人コミュニティ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Odysseus	6. 最初と最後の頁 107-125
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 89
2. 論文標題 書評Jean Bauberot, La loi de 1905 n'aura pas lieu : Histoire politique des Separations des Eglises et de l'Etat (1902-1908) ; tome I, L'impossible loi de liberte (1902-1905), Paris, Editions de la Maison des sciences de l'homme, 2019.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日仏文化	6. 最初と最後の頁 161-167
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kimura, Goro C.	4. 巻 54
2. 論文標題 The Concept of Minority and Minority Policy in Germany	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上智大学外国語学部紀要	6. 最初と最後の頁 45-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 小川公代	4. 巻 18
2. 論文標題 ワイルドとドイルのクィアナ”スピリチュアリティ” 「真面目」は肝心か、肝心でないか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 オスカー・ワイルド研究	6. 最初と最後の頁 25-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 8
2. 論文標題 ゴドウィン・サークルーアナキズムの思想を辿って	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 レイモンド・ウィリアムズ研究	6. 最初と最後の頁 28-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 13
2. 論文標題 オースティンの 革新性 モダニズム期の心理写実的技法を先取る	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジェイン・オースティン研究	6. 最初と最後の頁 69-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内村俊太	4. 巻 54
2. 論文標題 16世紀後半におけるトレード教会 スペイン近世国制史の観点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上智大学外国語学部紀要	6. 最初と最後の頁 21-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西脇靖洋	4. 巻 12
2. 論文標題 The Development of Portugal-Morocco Relations and International Migration	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 65-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 諸岡了介	4. 巻 2020
2. 論文標題 近代ホスピス成立の歴史的・宗教的背景 創設物語の再検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代宗教2020	6. 最初と最後の頁 111-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Klatau, Orion & 大平浩史	4. 巻 41
2. 論文標題 「宗教」概念を考える 近代日本における「宗教」としての仏教の生成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代と親鸞	6. 最初と最後の頁 191-231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Klatau, Orion ; 池田智文 ; 林淳 ; 桐原健真	4. 巻 51
2. 論文標題 日本思想史としての神仏分離・廃仏毀釈	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本思想史学	6. 最初と最後の頁 42-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Klatau, Orion	4. 巻 vol. 46, n.1
2. 論文標題 Review of Making History Matter: Kuroita Katsumi and the Construction of Imperial Japan, by Lisa Yoshikawa	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Japanese Studies	6. 最初と最後の頁 178-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 DATE Kiyonobu	4. 巻 53
2. 論文標題 Des mythes nationaux du Japon contemporain : Entre le besoin de demythification et de deconstruction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bulletin of the Faculty of Foreign Studies, Sophia University	6. 最初と最後の頁 157-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 DATE Kiyonobu	4. 巻 12
2. 論文標題 Different Perspectives on the Religious in Contemporary Studies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書 (ヨーロッパの世俗と宗教)	6. 最初と最後の頁 68-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内村俊太	4. 巻 11
2. 論文標題 16世紀におけるアラゴン王国の政体	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 39 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 見原礼子	4. 巻 57
2. 論文標題 二国間比較研究の方法論的再考と現代的意義: ヨーロッパにおける公教育制度の批判的問い直しのために	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 比較教育学研究	6. 最初と最後の頁 51 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 INOUE Madoka	4. 巻 12
2. 論文標題 “Believing without Belonging” and “Vicarious Religion” in Post-Soviet Russia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書（ヨーロッパの世俗と宗教）	6. 最初と最後の頁 89-92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OKAMOTO Ryosuke	4. 巻 12
2. 論文標題 Practicing without Believing in Post-Secular Society: the Case of Power Spot Boom in Contemporary Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書（ヨーロッパの世俗と宗教）	6. 最初と最後の頁 94-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 フランク・リースナー / 木村護郎クリストフ	4. 巻 12
2. 論文標題 ドイツ福音教会信徒大会とは何か	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書（ヨーロッパの世俗と宗教）	6. 最初と最後の頁 100113
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 12
2. 論文標題 政治に分断されるカトリック教会 ポーランドにおけるポピュリスト政党と宗教保守層の動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学ヨーロッパ研究所研究叢書（ヨーロッパの世俗と宗教）	6. 最初と最後の頁 114-128
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 諸岡了介	4. 巻 8
2. 論文標題 死者の姿がみえたとき 終末期の お迎え 体験をめぐって	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 支援	6. 最初と最後の頁 108-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 22
2. 論文標題 アブデヌール・ビダールにおけるライシテとイスラーム	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 フランス哲学・思想研究	6. 最初と最後の頁 42-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 21 (別冊)
2. 論文標題 フランス、ベルギー、ケベックのライシテを比較する 成り立ちと現在の課題から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 金城学院大学キリスト教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 63 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 10
2. 論文標題 カトリシズムとセクシュアル・デモクラシー フランスの同性婚反対運動とライシテ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 47-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 389
2. 論文標題 書評と紹介「菅野賢治『フランス・ユダヤの歴史』上下巻、慶応大学出版会、2016年」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 320-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 増田一夫	4. 巻 595
2. 論文標題 マクロン大統領とフランス社会の内なる外部	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 教養学部報	6. 最初と最後の頁 3-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 見原礼子	4. 巻 21 (別冊)
2. 論文標題 ベルギーのライシテと宗教多元性 公教育における二つの論争から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 金城学院大学キリスト教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 23-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimiyo Ogawa	4. 巻 10
2. 論文標題 Queer Genius and the Discourse of the Spiritual in Britain: Virginia Woolf's Orlando (1928)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 21-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 89
2. 論文標題 ロマン主義文学における「科学的」人種論と宗教	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本英文学会第89回大会Proceedings	6. 最初と最後の頁 71-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内村俊太	4. 巻 18
2. 論文標題 カトリック君主国の都市祭典 フェリーペ2世期のトレードを例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 スペイン・ラテンアメリカ美術史研究	6. 最初と最後の頁 15-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内村俊太	4. 巻 10
2. 論文標題 近世スペインの都市年代記における共同体像	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 5-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 諸岡了介	4. 巻 23
2. 論文標題 死と「迷惑」：現代日本における死生観の実情	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 宗教と社会	6. 最初と最後の頁 79-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 諸岡了介・相澤出・田代志門・藤本稯彦・板倉有紀	4. 巻 23
2. 論文標題 終末期に生じる一時的な覚醒・寛解とその意味 在宅ホスピス遺族調査から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 死生学・応用倫理研究	6. 最初と最後の頁 75-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 江川純一	4. 巻 91 (別冊)
2. 論文標題 イタリア宗教学派はデュルケームをいかに読んだか?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 55-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 40
2. 論文標題 現代史における宗教研究の可能性と課題 ポーランド史の視点から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 165-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumiko Sawae	4. 巻 35
2. 論文標題 The Condition of the Post-Kemalist Public Sphere in Turkey	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sophia Journal of Asian, African, and Middle Eastern Studies	6. 最初と最後の頁 181-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 51
2. 論文標題 欧州評議会と承認のライセンス 報告書「民主的な社会における信教の自由と共生」を糸口として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 上智大学外国語学部紀要	6. 最初と最後の頁 197-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 増田一夫	4. 巻 21
2. 論文標題 逆風のなかの「移民」 フランスにおける排除と敵対の言説	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ODYSSEUS 東京大学大学院総合文化研究科・地域文化研究専攻紀要	6. 最初と最後の頁 79-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 見原礼子	4. 巻 3
2. 論文標題 21世紀の「難民問題」 人道危機への向き合い方	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 見原礼子	4. 巻 3
2. 論文標題 難民・内戦・テロ 全てがつながる時代に共生を考える	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 7-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KIMURA Goro Christoph	4. 巻 63 (1)
2. 論文標題 Wuznam nalozowanja serbsciny w cyrkwi za jeje zachowanje - Prikladowa studija z katolskeje wosady	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Letopis	6. 最初と最後の頁 56-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 10
2. 論文標題 ドイツのエネルギー転換とキリスト教	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 上智大学ヨーロッパ研究所叢書	6. 最初と最後の頁 94-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OGAWA Kimiyo	4. 巻 57
2. 論文標題 'Roaming fancy' and Imagination: Gothic Force in Austen's Northanger Abbey and Keats's Isabella	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Studies in English Literature	6. 最初と最後の頁 23-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OKAMOTO Ryosuke	4. 巻 6 (1)
2. 論文標題 Authentic Fake: Diversification of Authenticity in Tourism Culture	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Asia Review	6. 最初と最後の頁 293-315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 9
2. 論文標題 ポーランドのボードゲームに描かれるカトリック修道会の世界	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本文化研究所年報	6. 最初と最後の頁 47-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計73件 (うち招待講演 25件 / うち国際学会 14件)

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 西欧型政教関係の課題の変遷と分節化 英独仏西を比較する
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 世界人文学宣言座談会アジェンダ
3. 学会等名 世界人間学宣言座談会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 セクシュアリティ教育の実践において文化の多様性をどのように考慮するのか オランダの事例から
3. 学会等名 第6回多文化医療研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 西欧諸国の公教育制度においてイスラームはいかに包摂されたのか？ そのプロセスと新たな展開
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究（第8回研究会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 増田一夫
2. 発表標題 「人類学的断絶」と文明の行方 人新世における「信」
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的と宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究（第9回研究会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村護郎クリストフ・加藤久子
2. 発表標題 冷戦下での西ドイツ・ポーランドの和解におけるキリスト教会の役割
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究（第8回研究会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村護郎クリストフ
2. 発表標題 ドイツ人の『避難・追放』から考える『引揚』の歴史
3. 学会等名 シンポジウム「対話から学ぶ歴史と未来 日本とドイツの引揚者・帰国者の戦後」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimiyo Ogawa
2. 発表標題 Jarring voices in Melmoth the Wanderer: Representing British/Irish Body Politic under the Union
3. 学会等名 32nd IASIL Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kimiyo Ogawa
2. 発表標題 Nogami Yaeko 's Adaptation of Jane Austen 's Pride and Prejudice
3. 学会等名 第45回日本ロマン派学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 『フランケンシュタイン』とシェリーの天才論
3. 学会等名 文理連接プロジェクト 医学史と生命科学論 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 イギリスの世俗化の起源としてのプロンテ姉妹—アングリカンと非国教徒とのあいだ
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的と宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究 (第9回研究会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内村俊太
2. 発表標題 16世紀スペインにおける政教関係ー複合君主制と国家教会化
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的と宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究(第9回研究会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西脇靖洋
2. 発表標題 ポルトガルにおける民主化とカトリック教会
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的と宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究(第9回研究会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡本亮輔
2. 発表標題 なぜ神木に抱きつくのか - 宗教的パフォーマンスを生み出す環境
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 立田由紀恵
2. 発表標題 多宗教社会ボスニア・ヘルツェゴビナからみる西欧の政協関係
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 立田由紀恵
2. 発表標題 戦争の記憶と宗教 スレブレニツァに建設されるモスクとセルビア正教教会
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究(第8回研究会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諸岡了介
2. 発表標題 近代ホスピス成立の宗教的背景 創設神話の再検討
3. 学会等名 印度学宗教学会第61回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諸岡了介
2. 発表標題 Terminal Lucidity and Remission in Japan
3. 学会等名 14th International Conference on the Social Context of Death, Dying and Disposal (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 イタリア型政教関係の特殊性 「ライチタ」と「ライシテ」
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 ソ連解体後（あるいはポスト冷戦期）におけるロシアの教育改革と多民族統治の試みとしての宗教文化教育
3. 学会等名 ヨーロッパの世俗的・宗教的アイデンティティの行方 政教関係の学際的比較研究（第8回研究会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 ロシアの「多宗派公認体制」からみる西欧の政教関係
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 古儀式派をめぐる研究動向
3. 学会等名 第8回古儀式派研究会研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 東方教会（正教会）とロシア正教会のあいだ～西方教会との関係において
3. 学会等名 「ロシア正教思想のダイナミズムの諸相」シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Klatau, Orion
2. 発表標題 近代仏教と日本思想の語り方
3. 学会等名 日本近代仏教史研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Klatau, Orion
2. 発表標題 原坦山と近代日本仏教
3. 学会等名 シンポジウム「駒澤大学における「禅と心」探究の歴史（招待講演）」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Klatau, Orion
2. 発表標題 Religion and Ethics in Early Twentieth-Century Japan: Murakami Sensho and Buddhist Modernity
3. 学会等名 The 2nd Intonesia-Japan Scientific Forum/International Symposium on Japanese Studies（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Klatau, Orion
2. 発表標題 近代日本仏教史上の村上専精
3. 学会等名 大正大学総合仏教研究所公開講座（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Different Perspectives on the Religious in Contemporary Societies
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスのポストセキュラー
3. 学会等名 京都フォーラム「ポスト世俗化時代の宗教を構想する」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Les mythes nationaux dans le Japon de l'après-guerre
3. 学会等名 Demi-journee d'étude : Mythes nationaux et nationalisme au Japon (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 ブリュッセルにおける社会融和に向けたモスクの試みと期待　モランバーク地区を事例に
3. 学会等名 第77回ベルギー研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 パネルディスカッション「外国人との多文化共生」
3. 学会等名 自民党持続可能な開発目標（SDGs）外交議連主催シンポジウム「SDGsを語り合う～持続可能な社会を目指して～」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 ベルギーの公教育における宗教教育 歴史・論争・変容
3. 学会等名 「ヨーロッパの世俗と宗教」研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 立田由紀恵
2. 発表標題 ボスニア・ヘルツェゴビナにおける宗教とナショナル・アイデンティティ：戦後23年にかけての変容
3. 学会等名 「ヨーロッパの世俗と宗教」研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西脇靖洋
2. 発表標題 ポルトガルにおける民主化とコンコルダート
3. 学会等名 「ヨーロッパの世俗と宗教」研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 諸岡了介
2. 発表標題 宗教的文脈からみたイギリスのホスピスケア
3. 学会等名 「ヨーロッパの世俗と宗教」研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 増田 一夫
2. 発表標題 主権・国民・人権 移民は『問題』なのか？
3. 学会等名 東京大学地域文化研究専攻シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 OKAMOTO Ryosuke
2. 発表標題 Religion and Tourism in Post-Secular Society
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 INOUE Madoka
2. 発表標題 “Believing without Belonging” and “Vicarious Religion” in Post-Soviet Russia
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 ポーランドにおける右派勢力とカトリック教会
3. 学会等名 日本比較政治学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 ポーランド『三月事件』を結ぶ点と線 ワルシャワ・パチカン・エルサレム
3. 学会等名 国際シンポジウム「1968年再考 グローバル関係学からのアプローチ」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 Mary Wollstonecraft and Mary Shelley: The Body and Soul Debate
3. 学会等名 The 47th Wordsworth Summer Conference (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 オスカー・ワイルドとコナン・ドイルの実験: 身体とスピリチュアリティ
3. 学会等名 日本ワイルド協会第43回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 立田由紀恵
2. 発表標題 ボスニア・ヘルツェゴビナのユダヤ共同体：迫害を知らないヨーロッパのユダヤ人
3. 学会等名 同志社大学－神教学際研究センターCISMOR Conference「ユダヤ教の諸相とその周辺 “Aspects of Judaism and Beyond”」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyonobu Date
2. 発表標題 Quelle tolerance pour lutter contre la radicalisation ? : Une lecture de Voltaire au prisme de la situation japonaise
3. 学会等名 CRIDAQ (Centre de recherche interdisciplinaire sur la diversite et la democratie) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 オランダのイスラーム学校におけるセクシャリティ教育教材の分析
3. 学会等名 日本比較教育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Reiko Mihara
2. 発表標題 Implementing Comprehensive Sexuality Education for Muslim Children in Europe: A Case Study on Islamic Schools in the Netherlands
3. 学会等名 ISPCAN European Regional Conference on Child Abuse and Neglect (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Reiko Mihara
2. 発表標題 Quelques reflexions sur l'enseignement islamique en Belgique et aux Pays-Bas : Mises en perspective depuis l'enseignement religieux au Japon
3. 学会等名 Seminaire du Centre interdisciplinaire d'etudes de l'Islam dans le monde contemporain (CISMOC) (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 口マン主義文学における「科学的」人種論 (シンポジウム:「身体・人種・人間 - - 英語圏文学の人類学的転回」)
3. 学会等名 日本英文学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kimiyo Ogawa
2. 発表標題 Scientific Curiosity in Samuel Johnson's Rasselas and Mary Shelley's Frankenstein
3. 学会等名 Wordsworth Summer Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡本亮輔
2. 発表標題 フィクションが作る聖なる場所 聖母出現、パワースポット、アニメ聖地
3. 学会等名 関東社会学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡本亮輔
2. 発表標題 偽物が作る本物の場 青森キリストの墓を中心に
3. 学会等名 公開シンポジウム「巡礼と聖地 その伝統と現代」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 諸岡了介
2. 発表標題 世俗化の形成：概念史的考察
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 諸岡了介
2. 発表標題 ケアと「迷惑」
3. 学会等名 公開シンポジウム「ケアの現場と人文学研究との協働による新たな 老年学 の構築」(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 「新しい学」としてのイタリア宗教史学
3. 学会等名 「20世紀イタリアの芸術と文化」研究会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 イタリア宗教史学派はデュルケームをいかに読んだか？
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 ポーランドのカトリック巡礼地が表象するdarkness
3. 学会等名 研究会「社会主義文化における記憶と記念の比較研究
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 負の文化遺産と<パフォーマンス> ポーランドにおけるホロコーストの記憶をめぐって
3. 学会等名 日本社会学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Orion Klautau
2. 発表標題 By Pen and Sword: Varieties of Goho Strategies in Bakumatsu Japan,
3. 学会等名 International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Orion Klautau
2. 発表標題 Buddhism in Modern Japan: Networks and Scholarship
3. 学会等名 Oslo-Tohoku International Workshop "Buddhism in Japanese History: New Perspectives" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 立田由紀恵
2. 発表標題 「ムスリム国家ボスニア」－アイデンティティ形成と宗教意識
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスにおけるムスリムとの共生 アブダル・マリクの場合
3. 学会等名 神奈川大学人文学研究所主催公開シンポジウム「ホスピタリティと人文学の役割 足元からの多文化共生」(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランス、ベルギー、ケベックのライシテを比較する 成り立ちと現在の課題から
3. 学会等名 シンポジウム「社会における脱宗教(ライシテ)について考える フランス、ベルギーそしてケベック(カナダ)」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 アブデヌール・ビダールにおけるライシテとイスラーム
3. 学会等名 日仏哲学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 ヨーロッパにおけるムスリム移民系生徒の教育課題
3. 学会等名 日本学習社会学会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 ベルギーのライシテと宗教多元性 公教育における二つの論争から
3. 学会等名 シンポジウム「社会における脱宗教（ライシテ）について考える フランス、ベルギーそしてケベック（カナダ）」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木村護郎クリストフ
2. 発表標題 ドイツのエネルギー転換とキリスト教
3. 学会等名 上智大学ヨーロッパ研究所ミニ・シンポジウム「ドイツの環境意識の背景を探る」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 John Thelwall 's "spots of time" in The Daughter of Adoption
3. 学会等名 Wordsworth Summer Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 Radical Walking in Coleridge 's and Thelwall 's Poems
3. 学会等名 イギリス・ロマン派学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 内村俊太
2. 発表標題 フェリーベ2世時代のトレードにおける祝祭
3. 学会等名 スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 諸岡了介
2. 発表標題 D. マーティンと世俗化論の半世紀
3. 学会等名 印度学宗教学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 OKAMOTO Ryosuke
2. 発表標題 Framed Holy Place: Contemporary Japanese religious sites in Photos
3. 学会等名 国際会議 "Tourism and culture, the trace of east Asia in the world" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 宗教史学における差異と反復 ペッタッツォーニとエリアーデ
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計41件

1. 著者名 堀江宗正、上村岳生、伊達聖伸、中野毅、島園進、小島毅、西村明、小原克博、川村寛文、井上順孝、	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 348(59-85)
3. 書名 宗教と社会の戦後史	

1. 著者名 小塩和人、増井志津代、石井紀子、伊達聖伸、水谷裕佳、出口真紀子、前嶋和弘、谷洋之、飯島真里子、小川公代、ケネス・G・オキモト、飯野友幸	4. 発行年 2019年
2. 出版社 上智大学出版	5. 総ページ数 326 (89 - 110)
3. 書名 北米研究入門2 - 「ナショナル」と向き合う	

1. 著者名 レジーヌ・アズリア、ダニエル・エルヴェー＝レジエ、増田一夫、伊達聖伸、鶴岡賀雄、杉村靖彦、長井伸仁	4. 発行年 2019年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 774
3. 書名 宗教事象事典	

1. 著者名 フランソワ・オスト、伊達聖伸	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 188
3. 書名 ヴェールを被ったアンティゴネー	

1. 著者名 Hideki Maruyama, Miyuki Ohta, Chiho Ohashi, Abid Hussain Abid, Kimiko Nii, Tulay Kaya, Reiko Mihara	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 184 (111-130, 150-165)
3. 書名 Cross-Bordering Dynamics in Education and Lifelong Learning: A Perspective from Non-Formal Education	

1. 著者名 Alex Watson, Mary Ellis Gibson, Ayako Wada, Kaz Oishi, Lu Jin, Kyung-Sook Shin, Ou Li, Ting Guo, Nahoko Miyamoto Alvey, Daniel Gallimore, Kimiyo Ogawa, Terence H. W. Shih, Rosalind Atkinson, Peter Otto, Steve Clark	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Palgrave Mcmillan	5. 総ページ数 414(295-318)
3. 書名 British Romanticism in Asia: The Reception, Translation, and Transformation of Romantic Literature in India and East Asia	

1. 著者名 小塩和人、増井志津代、石井紀子、伊達聖伸、水谷裕佳、出口真紀子、前嶋和弘、谷洋之、飯島真里子、小川公代、ケネス・G・オキモト、飯野友幸	4. 発行年 2019年
2. 出版社 上智大学出版	5. 総ページ数 326 (261-286)
3. 書名 北米研究入門2 - 「ナショナル」と向き合う	

1. 著者名 河崎健、内村俊太、高橋暁生、上野俊彦、牧陽子、ブリュー・モンフォール、安達祐子、木村護郎クリフトフ、伊達聖伸、ヴァルヴァラ・ムヒナ、市之瀬敦、村田真一、松原典子、マウロ・ネーヴェス、ジョン・ウィリアムズ	4. 発行年 2020年
2. 出版社 上智大学出版	5. 総ページ数 347(6-23)
3. 書名 新しいヨーロッパ学	

1. 著者名 蘭信三、吉川元、川喜田敦子、松浦雄介、西脇靖洋、佐原彩子、松浦雄介、山本めゆ、坂田勝彦、野入直美、崔徳孝、李淵植、中山大将	4. 発行年 2019年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 352 (128-145)
3. 書名 引揚・追放・残留 - 戦後国際民族移動の比較研究』	

1. 著者名 西川克之、岡本亮輔、奈良雅史、鈴木涼太郎、麻生美希、越智正樹、波多野想、金成_、門田岳久、村上大輔、渡部瑞希、田中孝枝、大野哲也、富永京子、越智郁乃	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 327 (45-61)
3. 書名 フィールドから読み解く観光文化学 - 「体験」を「研究」にする16章	

1. 著者名 櫻井義秀、川田進、佐藤千歳、藤野陽平、滝澤克彦、矢野秀武、外川昌彦、高橋沙奈美、加藤久子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 350(289-312)
3. 書名 アジアの公共宗教 ポスト社会主義国家の政教関係	

1. 著者名 勝又悦子、柴田大輔、志田雅宏、高井啓介、細田あや子、加藤久美子、小堀馨子、上村静、土居由美、中西恭子、櫻井丈、嶋田英晴、李美奈、青木良華、立田由紀恵	4. 発行年 2020年
2. 出版社 リトン	5. 総ページ数 423(395-417)
3. 書名 一神教世界のユダヤ教 市川裕先生献呈論文集	

1. 著者名 剣持久木、佐々木真、伊達聖伸、西願広望、川崎亜紀子、斎藤佳史、藤井篤、小窪千早	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 212
3. 書名 よくわかるフランス近現代史	

1. 著者名 池澤優、富澤かな、矢野秀武、立田由紀恵、川瀬貴也、伊達聖伸、江川純一、塩尻和子、澤江史子、ジョリオン・トーマス、稲場圭信、金子昭、寺戸淳子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 256
3. 書名 政治化する宗教, 宗教化する政治	

1. 著者名 立石博高、内村俊太、久木正雄、宮崎和夫、竹下和亮	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 251
3. 書名 スペイン帝国と複合君主政	

1. 著者名 本村昌文、加藤聡、近田真美子、日笠晴香、吉葉恭行、諸岡了介	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ポラーノ出版	5. 総ページ数 458
3. 書名 老い 人文学・ケアの現場・老年学	

1. 著者名 藤原聖子、八木久美子、嶋田弘之、志田雅宏、新免光比呂、井上まどか、宮田義矢、古田富建、大久保教宏、大澤千恵子、久保田浩、佐藤清子、谷内悠	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 276
3. 書名 世俗化後のグローバル宗教事情	

1. 著者名 増田一夫、高桑和巳、鶴飼哲、江島泰子、梅田孝太、郷原佳以、石塚伸一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 xxx + 238
3. 書名 デリダと死刑を考える	

1. 著者名 武藤浩史、近藤直樹、福西由実子、見市雅俊、小川公代、長島佐恵子、木下誠、加藤めぐみ、松本朗、前協子、渡辺愛子、秦邦生、井川ちとせ	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央大学出版部	5. 総ページ数 iii + 430
3. 書名 英国ミドルブラウ文化研究の挑戦	

1. 著者名 Alex Watson, Laurence Williams, Mary Ellis Gibson, Ayako Wada, Kaz Oishi, Lu Jin, Kimiyo Ogawa, Kyung-Sook Shin, Ting Guo, Nahoko Miyamoto Alvey, Daniel Gallimore, Terence H. W. Shih, Rosalind Atkinson, Peter Otto, Steve Clark	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 XX + 414
3. 書名 British Romanticism in Asia: The Reception, Translation, and Transformation of Romantic Literature in India and East Asia	

1. 著者名 OKAMOTO Ryosuke	4. 発行年 2019年
2. 出版社 JPIC	5. 総ページ数 176
3. 書名 Pilgrimages in the Secular Age: From El Camino to Anime	

1. 著者名 柴田大輔、中町信孝、伊達聖伸、河合望、長谷川修一、高井啓介、渡井葉子、青木健、亀谷学、嶋田英晴、辻明日香、上野雅由樹、鈴木恵美	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 400
3. 書名 イスラームは特殊か	

1. 著者名 伊達聖伸	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 iv+243
3. 書名 ライシテから読む現代フランス	

1. 著者名 福井憲彦、池内了、重田園江、伊達聖伸、渡名喜庸哲、高澤紀恵	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 260
3. 書名 対立する国家と学問	

1. 著者名 Shin Abiko, Hisashi Fujita, Yasuhiko Sugimura, Masataka Muramatsu, Anne Devarieux, Kotaro Ono, Claire Marin, Laurent Fedi, Stephane Madelrieux, Kiyonobu Date, Arnaud Francois, Masato Goda, Frederic Keck, Tatsuya Murayama, Sebastien Miravete, Pierre Montebello, Ayako Ozeki, Toshihiko Ito, etc.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 OImS	5. 総ページ数 317
3. 書名 Considerations inactuelles. Bergson et la philosophie francaise du XIXe siecle	

1. 著者名 合田 正人、坂本 尚志、増田 一夫、宮崎 裕助、岩野 卓司、藤田 尚志、郷原 佳以、澤田 直	4. 発行年 2017年
2. 出版社 書肆心水	5. 総ページ数 317
3. 書名 共にあることの哲学と現実 : 家族・社会・文学・政治	

1. 著者名 東京大学教養学部編、増田一夫、石井洋二郎、武田将明、吉国浩哉、山本芳久、阿古智子、石橋純、秋草俊一郎、アルヴィ宮本なほ子、竹峰義和、小林康夫、井坂理穂、品田悦一、石井剛、桑田光平、長谷川まゆ帆、日向太郎、前島志保、定松淳、松田良一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 270
3. 書名 分断された時代を生きる	

1. 著者名 日本オースティン協会編、小川公代、塩谷清人、三馬志伸、皆本智美、坂田薫子、新野緑、中尾真理、松村聡子、中村祐子、海老根宏、廣田美玲、水尾文子、高桑晴子、新井潤美、池田裕子、川津雅江、鈴木美津子、中村哲子、久守和子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 397
3. 書名 ジェイン・オースティン研究の今	

1. 著者名 小川公代、村田真一、吉村和明編、沼野充義、野崎歆、眞鍋正紀、新井潤美、秦邦生、渡辺諒、笠間直穂子、堤康徳、奥彩子、ジョン・ウィリアムズ	4. 発行年 2017年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 370
3. 書名 文学とアダプテーション	

1. 著者名 日本英文学会（関東支部）編、佐々木徹、巽孝之、原田範行、斎藤兆史、小林久美子、阿部公彦、北和丈、中村哲子、小川公代、奥聡一郎、中井亜佐子、越智博美、丹治愛、新田啓子、新井潤美、岩田美喜、唐澤一友、井出新、アルヴィ宮本なほ子、長畑明利、高桑晴子、秦邦生、中野学而、諏訪部浩一、中村和恵、伊藤盡、佐藤和哉、田尻芳樹ら	4. 発行年 2017年
2. 出版社 研究社	5. 総ページ数 334
3. 書名 教室の英文学	

1. 著者名 中央大学人文科学研究所、井川 ちとせ、前 協子、加藤 めぐみ、小川 公代、木下 誠、松本 朗、武藤 浩史、渡辺 愛子、秦 邦生、見市 雅俊、福西 由実子、長島 佐恵子、近藤 直樹	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央大学出版部	5. 総ページ数 444
3. 書名 英国ミドルブラウ文化研究の挑戦	

1. 著者名 上智大学アメリカ・カナダ研究所、上智大学イベロアメリカ研究所、上智大学ヨーロッパ研究所、イベロアメリカ研究所、ヨーロッパ研究所、上智大学アメリカカナダ研究所編、内村俊太、高橋暁生、米山かおる、岩崎えり奈、野澤丈二、杉浦末樹、名和玲、飯島真里子、石井紀子、佐々木一恵、矢澤達宏、小塩和人、正山耕介	4. 発行年 2018年
2. 出版社 上智大学出版;ぎょうせい	5. 総ページ数 332
3. 書名 グローバル・ヒストリーズ：「ナショナル」を越えて	

1. 著者名 納家政嗣、若林広、西脇靖洋、澤江史子、宮城大蔵、水本義彦、藤田泰昌、山越裕太、島村直幸、泉淳真、城百華、尾尻希和、永野隆行	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 308
3. 書名 帝国の遺産と現代国際関係	

1. 著者名 増田 一夫、岩野卓司、合田正人、坂本尚志、澤田直、藤田尚志、湯浅博雄	4. 発行年 2016年
2. 出版社 書肆心水	5. 総ページ数 284 (173 207)
3. 書名 共にあることの哲学 フランス現代思想が問う 共同体の危険と希望 1 理論編	

1. 著者名 江川純一、井上まどか、久保田浩、鶴岡賀雄、山崎亮、渡辺和子、高井啓介、山本伸一、青木健、毛利晶、野口孝之、寺戸淳子、佐藤清子、西村明	4. 発行年 2017年
2. 出版社 リトン	5. 総ページ数 414 (65-80、355-378)
3. 書名 「呪術」の呪縛【下巻】	

1. 著者名 立石博高、内村俊太、加藤伸吾、菊池信彦、久米順子、黒田祐我、永田智成、中本香、久木正雄、福山祐子、武藤祥	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 396 (100-150、329-334)
3. 書名 スペインの歴史を知るための50章	

1. 著者名 金成王文・岡本亮輔・周倩	4. 発行年 2017年
2. 出版社 亜紀書房	5. 総ページ数 304 (102-126)
3. 書名 東アジア観光学	

1. 著者名 中野智世、前田更子、渡邊千秋、尾崎修治、加藤久子ほか	4. 発行年 2016年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 325 (33-57)
3. 書名 近代ヨーロッパとキリスト教 カトリシズムの社会史	

1. 著者名 古沢広祐、笠間直穂子、安達智史、加藤久子ほか	4. 発行年 2017年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 267 (65-86)
3. 書名 共存学4	

1. 著者名 陳天璽、小森宏美、佐々木てる、明石純一、石井香世子、伊藤泉美、大西広之、小山雅徳、郭伊代、宮内紀子、館田晶子、村上勇介、石井洋子、錦田愛子、林泉忠、山田美和、高村加珠恵、西脇靖洋	4. 発行年 2016年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 292 (18-21)
3. 書名 パスポート学	

1. 著者名 下楠昌哉、田多良俊樹、鈴木暁世、小川公代、岩田美喜、白川恵子、大沼由布、小宮真樹子、遠藤徹、石井有希子、桃尾美佳、有元志保、川島健、高橋路子、金谷益道、小川真理、金津和美、山口和彦、白井雅美、東雅夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 480 (78-98)
3. 書名 幻想と怪奇の英文学 2 増殖進化編	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	増田 一夫 (Masuda Kazuo) (70209435)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (12601)	
研究分担者	見原 礼子 (Mihara Reiko) (70580786)	長崎大学・多文化社会学部・准教授 (17301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	井上 まどか (Inoue Madoka) (70468619)	清泉女子大学・文学部・准教授 (32632)	
研究分担者	木村 護郎クリストフ (Kimura GoroChristophe) (90348839)	上智大学・外国語学部・教授 (32621)	
研究分担者	小川 公代 (Ogawa Kimiyo) (50407376)	上智大学・外国語学部・准教授 (32621)	
研究分担者	江川 純一 (Egawa Jun'ichi) (40636693)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・助教 (12601)	
研究分担者	岡本 亮輔 (Okamoto Ryosuke) (30747952)	北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・准教授 (10101)	
研究分担者	諸岡 了介 (Morooka Ryosuke) (90466516)	島根大学・学術研究院教育学系・准教授 (15201)	
研究分担者	内村 俊太 (Uchimura Shunta) (90710848)	上智大学・外国語学部・准教授 (32621)	